

重要な観点で内容検索可能なポータルサイトの構築

金久保 正明[†] 山岡 寛幸[†] 河原崎 真之介[†]

静岡理工科大学理工学部情報システム学科[†]

1. はじめに

近年、インターネットの情報検索手段としてはキーワード検索が中心となっている。ページランク等、良質なサイトを効率よく自動収集するアルゴリズムを実現した Google の影響によるところが大きい。以前から、リンクによるディレクトリ型検索で実績を挙げていた Yahoo! も YST というロボット型検索を導入し、現在、単にインターネット検索と言えば、キーワード検索を指す、と言っても過言ではない。

しかし、従来の階層的カテゴリーに分類されたリンクによるサイト検索は、1 ページから 10 のリンクのある階層構造を考えると、わずか 10 階層で 10 の 10 乗=100 億のサイトを辿る事が可能となる。また、人間による分類であるためノイズが殆どない、等のロボット型には無いメリットもあり、重要性は減じていない。

現在では、リンクによるサイト検索を提供するポータルサイトは、或る分野や地域に特化した専門ポータル[1][2]、地域ポータル[3]が主流となりつつある。しかし、カテゴリー分類等が十分とは言えず、様々なユーザの検索要求に応えられるポータルサイトはまだ少ない。

そこで本研究では、予め集めたサイト内容を精査した上で、様々な重要観点に登録し、絞り込み検索を可能とするポータルサイトの開発を目指した。対象としては、芸能人ブログと音楽教則サイトを対象とした。重要観点は、予めニーズ調査を行って選定した。評価試験で、ユーザの満足度等に、一定の効果が確認された。

2. 提案システムの概要

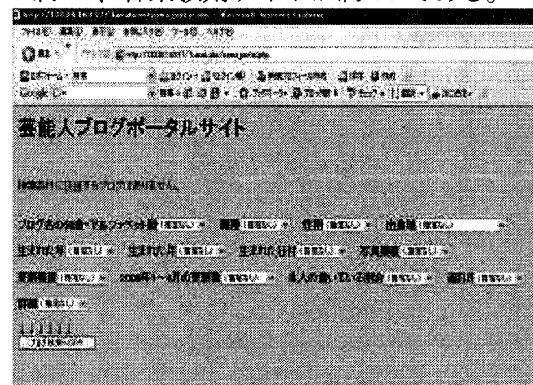
本研究では、芸能人ブログと音楽教則サイトという 2 種類の分野のポータルサイト構築を試みた。芸能人ブログは若者を中心に非常に人気が高く、既にポータルサイトは多いが、カテゴリーが芸能人名の 50 音順や、タレント・歌手等のジャンル程度しかなく、細かい検索要求に対応していないと考えられる。

音楽教則サイトに関しては、近年、高圧縮音楽ファイル (MP3) の普及により、サイト数は増加しているものの、ポータルサイトがまだ殆ど存在しない事から開発を試みた。

事前に、芸能人は大学生等 28 人、音楽は音楽系サークルの学生等 38 人に「どんな観点から検索したいか」を問うニーズ調査を行い、要求の高い項目を絞った。芸能人ブログに関しては、「ブログ名の 50 音・アルファベット別」「職種」「性別」「出身地」「生年」「誕生月」「誕生日」「写真の多さ」「更新頻度」「最近 4 ヶ月の更新数」「本人が書いている可能性が高いか」「面白さ」「詳細」の計 13 項目、音楽教則サイトは「楽器等のジャンル」「写真や図の有無」「動画の有無」「手本の有 (見易さ) 無」「譜面の有無」「音源の有無」「レイアウト」「充実度」の計 8 項目を選定した。

画面には其々、項目ごとにプルダウンメニューが並び、例えば出身地なら都道府県別のメニュー、更新頻度であれば、「多い・中くらい・少ない」等のメニューを選択出来る。各項目について「指定なし」も選択出来、ユーザは指定したい項目のみを選んで、ボタンを押すと指定条件を全て満たすブログやサイトへのリンクが並ぶ。図は、芸能人ブログポータルの初期画面と、音楽教則ポータルで或る条件による検索結果を表示した画面である。

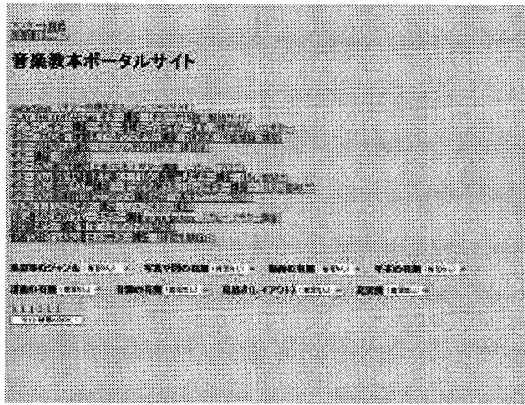
収集したブログ及びサイト数は、芸能人ブログが約 80、音楽教則サイトが約 50 である。



Portal Sites which is handy for reference from use's personal point of view

Masaaki kanakubo, Hiroyuki Yamaoka and Shinnosuke Kawarazaki

[†]Shizuoka institute of science and technology.



3. 評価試験

提案システムの有用性評価試験は、被験者は芸能人ブログについては大学3年生6名(20~23歳)、音楽教則サイトについては音楽系サークルの学生等計10名について行った。被験者は、項目のニーズ調査の対象とは別人である。時間制限は設けずに、自由に検索してもらい、満足度等に関するアンケート調査を行った。約に立った項目に○を付けてもらい、最終的に検索で残ったブログやサイトのうち気に入るものがあるか、製作者の主観が入り得る項目(例えば面白さの評価等)の分類が適切だったか等を尋ね、感想を自由記述してもらった。

芸能人ブログに関しては、検索上役に立ったと思う項目は、「性別」を67%が挙げ、断然多かった。ブログ名だけでは性別が分からないケースが多い事によると思われる。次いで「面白さ」(50%)、「写真頻度」「更新頻度」(33%)の順となった。「写真頻度」「更新頻度」「本人が書いている可能性が高い」「面白さ」の分類が正しいと思うか(3点満点)は、其々、3.0、2.3、2.0、2.0点となり、写真頻度以外は必ずしも信憑性は認められなかった。最終的に残ったブログで満足に行くものの個数の平均は、1.3個だった。

自由記述では、「機械では分からない、本人の書いている割合と面白さの項目が良かった」「ブログ名を忘れても他の情報をもとに検索できるのがよい」「写真頻度、更新頻度で検索出来るのがよい」等の肯定的意見がある一方、「ブログ数がまだ少ない」「本人の書いてある割合の分類が、中くらいに集まっている」等の問題点も指摘された。また、追加して欲しい項目として、「お仕事日記、日常、ペット等のブログのカテゴリー」「アクセス数」等も挙げられた。さらに、芸能人ブログは新規開設が多く、

常にデータベースの更新をする必要性等の課題も明らかになった。

音楽教則サイトに関して、検索上役に立ったと思う項目は「写真や図の有無」「レイアウト(見易さ)」を57%の被験者が挙げ、最も多かった。次いで「楽器等のジャンル」「手本の有無」が43%と多かった。「レイアウト(見易さ)」や「充実度」の分類が正しいと思うか(3点満点)は其々、2.6点、3.0点だった。最終的に残ったサイトで満足に行くものの数の平均は2.1個だった。

自由記述では、「様々なジャンルで検索出来るのでよい」「レイアウト(見易さ)の項目があるのがよい」「動画や手本、譜面、音源の有無が分かるのが便利」「サイトの数が多くても検索出来る」「サイトの説明文(リンクの横に入れた)が使い易さを高めている」等といった肯定的意見がある一方、「登録サイト数がまだ少ない」「リンク切れが多少あった」「初級向けや上級向け等のレベル別の分類が欲しい」等の課題も指摘された。

4. まとめ

重要な観点で内容検索可能なポータルサイトを、芸能人ブログと音楽教則サイトを例に構築し、評価した。内容に係る細かい項目を列挙して、ユーザは指定を組み合わせて検索可能である。評価試験の結果、事前のニーズ調査によって選定された項目による検索には多くの被験者が肯定的に評価した一方、人手で内容を検討して分類するため登録数が少ない、まだ欠けている重要項目がある、主観で分類する項目が必ずしも適切な分類になっていない、等も指摘された。さらに内容を充実し、精度を高めていくのが今後の課題である。

参考文献

- [1]「芸能ブログ村」
<http://entertainments.blogmura.com/>
- [2]「ダイヤモンドブログ」
<http://www.diamondblog.jp/>
- [3]「浜松市情報サイトNavi Station」
<http://www.navi-station.jp/>